プロジェクト名

バーチャルリアリティ技術を駆使し、保育現場を観察・体験・共創できる保育メタバースの実証実験

応募団体

株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所 保育テックチーム

事業採択

2023年11月

担当部署

保育課

取り組む背景

- 保育現場では、衛生対策や子どもへの影響、個人情報保護の観点から、第三者が自由に出入りすることが難しい。
- 保育室のスペースの狭さや遊具・家具の配置による動線の制約、保育士同士の連携の難しさなど、現場には解決すべき課題が多く存在する。

事業内容

1. バーチャルリアリティ技術を活用し、現実の保育活動への影響を抑えながら、保育園の物的環境・人的環境・音環境のデータを収集・分析する。
2. 収集したデータを基に、関係者が保育現場を観察・体験・議論できるメタバースプラットフォームを構築し、課題解決に向けた共創の場を提供する。
3. メタバースを活用した研修やワークショップを実施し、実際の訪問や対面コミュニケーションと比較しながら効果を検証し、事後のインタビューやアンケートを通じてフィードバックを得る。

期待される効果

- ✓ 保育現場の環境や課題を、多様な関係者がバーチャル空間で共有・議論できるようにすることで、より多角的な視点からの課題解決を促進する。
- ✓ 保育園をメタバース化し、遠隔での見学を可能にすることで、市民サービスの向上や保育への理解促進に繋げる。
- ✓ メタバース技術を保育士の研修に活用し、業務効率化と保育の質の向上を支援する。

〇メタバース技術を活用した取り組みの例

- 保育環境、および環境変化の評価実験
- 保育士・養成校学生の研修実験
- 家庭との情報共有実験
- 保育園のアーカイブ実験
- その他活用事例の探索